

第 27 回映像メディア英語教育学会 九州支部研究大会 2025

The 27th ATEM Conference of Kyushu Chapter



[日時 Date] : 2025 年 8 月 23 日 (土)

開場 13:30 開会 14:00

August 23rd, 2025

Open 1:30 p.m. Start 2:00 p.m.

[会場 Place] : 鹿児島女子短期大学

Kagoshima Women's College



第 27 回映像メディア英語教育学会九州支部研究大会

[会場 Place] : 鹿児島女子短期大学 (402 教室)
(Kagoshima Women's College, Room 402)

[日程 Date] : 2025 年 8 月 23 日 (土) (August 23rd, 2025)

13:30～ 受付開始 Registration

14:00～14:20 開会式・支部総会 Opening Ceremony

	司会 : 吉村 圭
・開会の辞	支部長 : 石田 もとな
・支部総会	
令和 6 年度会計報告&令和 7 年度予算案	事務局長 : 吉村 圭
令和 8 年度運営組織案	支部長 : 石田 もとな

14:30～16:25 研究発表 Sessions

1. Wendy の多面的女性像と映像化における変容 : Peter Pan のヒロイン像の変容に着目した英語文学の授業実践
吉村 圭 (佐賀大学)
2. 代名詞の理解につなげる英語教材としての映画とドラマ
飯田 泰弘 (岐阜大学・西日本支部)
3. 『ロミオとジュリエット』を通してウィリアム・シェイクスピアの詩的技法を理解する
河野 弘美 (京都外国語短期大学・西日本支部)
4. 子どもの興味を起点とした幼児英語教育の可能性—仮面ライダーカブト変身ベルトの英語表現を事例として
石田 もとな (鹿児島女子短期大学)

16:30～16:40 閉会式 Closing Ceremony

・閉会の辞	担当 : 秋好 礼子
-------	------------

16:40～17:30 親睦会 Tea Time

18:00～ 懇親会 Party

懇親会について

会場 : TATSU 男(たつお) 中央駅本店

鹿児島県鹿児島市上之園町 25-36 光健ボイスビル地下 1F

【発表1】 Session1 14:30-14:55

Wendy の多面的女性像と映像化における変容：

Peter Pan のヒロイン像の変容に着目した英語文学の授業実践

吉村 圭（佐賀大学）

司会：村田 希巳子

本発表では James Mathew Barrie の小説 *Peter and Wendy* (1911) とディズニーによる 2 つの映像化作品 (*Peter Pan*, 1953、*Peter Pan and Wendy*, 2023) を用いた英語文学の授業実践報告を行う。とりわけヒロインの Wendy の描かれ方に焦点をあてた、ジェンダー表象を考えるゼミ形式の授業実践について報告する。Barrie の小説において、Wendy は Peter や Lost Boys たちとの家族ごっこの中で家事や子育てを愛でる良妻賢母的な母・妻を演じる一方、空を飛び、Peter を誘惑し、Lost Boys たちを戦いにいざなう。海賊との戦いの場面では、多くの海賊を殺害して勝利した子どもたちを身震いしながら賞賛し、直後に優しい母親として寝かしつけを行う。高田 (2012) はこのような Wendy における多面的な女性像の共存について、作品が書かれた 20 世紀初頭のイギリスの植民地への移住政策の影響を明らかにし、「エドワード朝期英国の少女たちが女性として求められた要素は、ウェンディのように、『家庭の天使』的穏健さと『新しい女』的活発さの両方であった」(p.257) と結論づけている。本発表ではこのような原作小説におけるユニークな女性表象のあり方が、その後のディズニーによる 2 度の映像化においていかに変容しているかを、講義における学生たちの意見を交えながら考察する。

高田英和. (2012). ウェンディは何者であったのか:『ピーター・パン』と社会帝国主義. 『言語社会』, 6, 247-262.

【発表2】 Session2 15:00-15:25

代名詞の理解につなげる英語教材としての映画とドラマ

飯田 泰弘（岐阜大学・西日本支部）

司会：進藤 三雄

代名詞は、英語学習者が疑問に思う特性をたくさん持つ。まず、弱形で発音されるので文中ではほとんど聞こえないことが多い。また、人称代名詞 he や she は先行文に指示対象を持つ照応用法が一般的だが、直示用法の I や you は明確な先行詞を持たない。再帰代名詞では、myself は前半が所有格だが、himself は目的格である。指示代名詞では、that は先行文脈の話題しか指せないが、this はこれから述べる話題も指すことができる。本発表では主にこれらの特性に着目し、代名詞の理解を深め、英語でのコミュニケーション能力向上へと導くには、映画やドラマが有効的な教材となることを示す。具体的には、実際の代名詞の発音を確認し、You, you and you, you come with me. (『ダークナイト』) などで照応用法と直示用法の違いを考察し、I've got about 500 meself. (『ハリー・ポッターと賢者の石』) などの実例で英語の歴史を紐解き、But I will tell you this. (『42 世界を変えた男』) のような実例で前方照応と後方照応を比較する。

【発表 3】 Session3 15:30-15:55

『ロミオとジュリエット』を通してウィリアム・シェイクスピアの詩的技法を理解する

河野 弘美（京都外国語短期大学・西日本支部）

司会：進藤 三雄

ウィリアム・シェイクスピア（1564-1616）は、イギリスを代表する詩人であり戯曲家である。代表作の1つである『ハムレット』（1602年頃初演）や『マクベス』（1606年頃初演）などの悲劇に加え、若者の恋愛を描いた『ロミオとジュリエット』（1595年頃初演）も長く人々に愛されている代表作のひとつである。本研究発表では、『ロミオとジュリエット』に描かれる禁じられた恋に立ち向かう若者たちの姿に注目し、共感を呼ぶその物語の中に見られる詩的技法を取り上げる。一見難解な英詩ではあるが、『ロミオとジュリエット』を通してシェイクスピアが用いたソネット形式や撞着語法（パラドックス）などに注目し、登場人物の情熱や純粋さをどのように詩的に表現しているかを読みとっていく。英詩の技法を学びながら、物語を深く味わう視点を提案することで、シェイクスピア作品の魅力と英詩への理解を深める方法の提案をしていくことを目的とする。

【発表 4】 Session4 16:00-16:25

子どもの興味を起点とした幼児英語教育の可能性

一仮面ライダーカブト変身ベルトの英語表現を事例として

石田 もとな（鹿児島女子短期大学）

司会：秋好 礼子

本研究は、幼児英語教育における最適な開始時期と教材選択、および子どもの自発的興味を活用した学習アプローチの効果について検討する。

従来の幼児英語教育では、母国語習得との関係性について「母国語確立後説」と「同時習得説」の議論が続いている。市販の幼児用英語教材は、視覚的魅力と反復学習に重点を置いているが、子どもの内発的動機を十分に活用できていない場合が多い。

本事例では、筆者の次男が仮面ライダーカブトの変身ベルトから発せられる英語音声「Change Beetle」「Cast Off」に興味を示したことを契機に、親子で英語の意味や発音を調べる活動を実践した。この過程で、子どもは単なる暗記ではなく、好奇心に基づいて英語に接することができた。

結果として、子どもは英語への抵抗感を持たず、自ら質問する姿勢を示すようになった。このことから、子どもの興味を起点とした英語学習は、従来の系統的教材学習と比較して、学習動機の維持と英語への親和性向上に有効である可能性が示唆された。

今後は、このような「興味起点型学習」を体系化し、より多くの事例を収集することで、新しい幼児英語教育モデルの構築を目指す。